

森林業経営学科

森林業の新しい価値を

創造していく人材を

育てる。

森林業の新しさに魅力を感じ進学。
少人数の教育体制でしっかり学ぶ。

農林業経営学部 森林業経営学科

高橋 心月 Mizuki Takahashi

宮城県佐沼高等学校出身

高校生のときに入手した本学の資料の中で林業ではなく「森林業」とあり、大いに興味を持ちました。資源の活用に加えて様々なサービスをビジネスとして展開する「森林業」という分野に新しさを感じたのです。座学だけでなく実習の機会が豊富で多様な経験を積みそうと思えたことも、元来スポーツなど身体を動かすことが好きな自分にぴったりの環境と判断して入学を決めました。入学後は特に先生方との距離が近く、質の高い授業内容としっかりとしたサポートを受けられる少人数制のメリットを日々感じています。

林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組み、時代の要請に応えるビジネスを構築。

1 森林業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

現場では機器の飛躍的な進歩により自動化、省人化が進み、労働環境も大きく変化しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。またしっかり事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

2 学内外での豊富な実習で学べます。

学内実習	学内演習林で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で木材・加工・販売を学ぶ。
実地体験実習	優れた森林業事業体で経営実態の理解を深める。
臨地実務実習	東北6県の森林業事業体で、生産技術および経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。
国際農業・森林業実習（自由科目）	海外の大学や先進森林業地で森林業経営の実態を学ぶ。

3 幅広い分野が学べます。

本学科では森林業に密接に関連する分野も学修することができます（例えば、森林生態系サービス保全利用論など）。これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。



森林業経営学科
會田 望華
Mihana Kaida
山形県立上山明新館
高等学校出身

森林業経営学科
高橋 心月
Mizuki Takahashi
宮城県佐沼高等学校出身

経済性と環境保全の両立がテーマ。森林資源の持続的利活用を担う人材の育成を目指す。

産業の発展を目指す際に、儲けにつながる経済性にどうしても目が行きがちです。しかし森林業は、山の斜面が仕事場であるため、災害リスクがつきまとう産業分野であるといえます。よって本学では、森林業の発展に向けた経済性に関することと共に、災害防止による環境保全や森林で働く人の安全性向上についてもしっかり学んでいただきます。そして卒業後は、高度な知識とスキルを持ったバランス感覚の良い人材として、森林の恵みを持続的にフル活用する多様な場面で活躍していただきたいと思います。

森林業経営学部 森林業経営学科
准教授 小山 敢

2年次から学びはさらに深く、レベルアップ 専攻

森林資源管理

東北には日本の森林の2割弱が分布し、森林の恵みが地域の経済と社会を支え、さらに地域の独特な文化を育んできました。こうした森林を将来にわたって持続的に管理していくための実践的な知識と技術を学びます。単に再生可能な木材をはじめとした林産物の生産だけでなく、多様な生態系サービスを持続的に提供できる森林資源管理のあり方を理論と実践の両面から学びます。



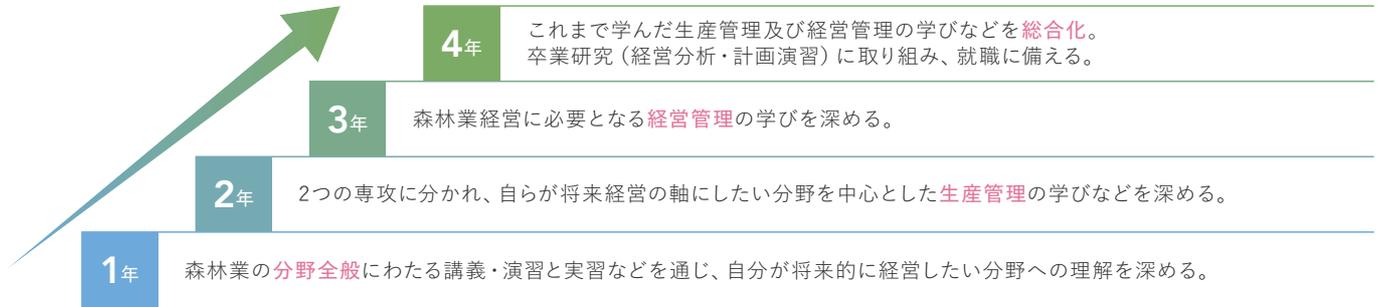
森林資源利活用

東北では春には山菜、秋にはきのこ、クルミやクリの果実などの森林の恵みを楽しんできました。また、古くから森林は山岳信仰の場としても大切にされてきました。森林は林産物の生産の場だけではなく、森林の空間を利用したレクリエーション、学習の場、地域の文化醸成の場としても可能性を秘めています。木材をはじめとした林産物利用に加えて、様々な森林の生態系サービスを利用した森林資源利活用の可能性について学びます。



林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組み、時代の要請に応えるビジネスを構築。

4年間の学びのイメージ



令和7年度学年暦イメージ

前期														後期																																														
4月				5月				6月				7月				8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																							
1	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	2	9	16	23									
ガイダンス					ウイーク	臨地実務実習				ウイーク	臨地実務実習				ウイーク	臨地実務実習				補講	テスト期間	夏季休業				ウイーク	臨地実務実習				ウイーク	臨地実務実習				ウイーク	臨地実務実習				冬季休業					補講	テスト期間									春季休業				

※週の欄の数字は、その週の月曜日の日にち。 ※黄色が実習期間で、臨地実務実習6週、大学での授業は前期10週、後期12週。 ※全ての「臨地実務実習ウイーク」で2日以上の実習を行い、前後期それぞれで15日の実習を行う。

学びで広がる世界(進路)

森林業経営学科

- 森林組合
- 素材生産事業体
- 製材・木材加工事業体
- 森林業関連団体・企業
- 官公庁 など

森林業経営学科の時間割 [2年/前期の前半]

	月	火	水	木	金
1	演習林実習II	森林情報学	測量学	情報活用	演習林実習II
2		社会福祉論	森林生態系サービス保全利用論	政治学概論	
3	東北シリーズ				
4	ビジネス英語II				
5	建築学	栄養学		木質科学概論	

オンデマンド講義: 社会学概論、発酵学・醸造学

農林業経営学部 森林業経営学科
北海道千歳高等学校出身

長谷 遼太

他の大学に比べて、座学だけでなく実習の時間が多いことが入学を決めた理由です。また自然豊かな山形県にあることも、森林業という分野を学ぶうえでは最高のフィールドだと感じています。実習で専門的な機器を操作する際には、現場経験が豊富な先生からきこまかく指導していただけます。まさにこの大学の少人数体制という強みがかさねられている環境です。将来は東北の森林業を盛んにして次世代へつないでいく仕事をしたいと考えています。



臨地実務実習先紹介

実習先

1

北庄内森林組合

当組合は平成20年4月に庄内北部の3組合が合併して誕生しました。経営基盤の強化を図りながら、木材の生産や国土保全だけでなく、文化、教育活動の場として地域林業の中核的役割を担っています。主たる事業は木材の生産等の施業ですが海岸林における松くい虫などの病害虫対策の事業も行っています。実習の学生の皆さんには森林の現場でどのように事業が行われているのか、その役割とはなんであるのかをしっかりと体感してほしいと思います。この仕事は卒業後も意欲的に学び続けることが必要です。森林を守り、活用していくために若い世代が熱意を持って取り組むことに期待しています。

国土を守り、森林を
活用していくために、
若い人材の活躍が必要。



森林業経営学科
黒澤 成斗
山形県立山回中央
高等学校出身



PROFILE

山形県酒田市飛鳥字
大林547番地1

設立:平成20年4月
組合員数:6,537名
支所:酒田
業務内容:森林整備・
管理・調査/森林病
虫獣害防除/山林種
苗の生産配布/林業
用資材の販売等



森林業経営学科
齋藤 優大
山形県立村山産業
高等学校出身

地域を活性化する
世界ブランドの企業として
幅広く事業を展開。

実習先

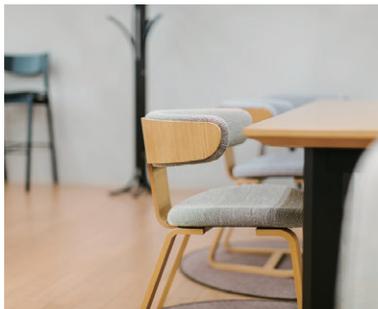
2

株式会社 天童木工

当社は戦時中に若い世代が地域で働く場を確保するために生まれた企業です。地域を活性化することが原点にあるといえます。また早くから技術の大切さを企業の核とし、あらゆる木材を活用できる成形合板技術の開発が、今日の天童木工ブランドの基礎となっています。自然素材を用いながら安定した品質で、大量生産を可能としたことで大手企業の顧客の高い要求に応えられる製品を作り続けることができるのです。実習の学生の方には、企業の一部だけではなく素材のスタートから、生産ラインを経て、営業の現場まで全体を経験してほしいと考えています。つまり社会でどう役立つ製品を作るのかを実感していただけます。

PROFILE

山形県天童市乱川1丁目3-10
設立:昭和15年6月
従業員数:267名(2025年現在)
営業種目:家具・インテリア用品の設計製造および販売、成形合板家具の設計製造および販売、室内装飾の設計および施工の請負、製材業および木製品の販売、自動車部品および付属品の製造
生産品目:家具・成形合板家具・自動車木製内装部品・各種木製品・室内装飾一般
本社:天童 支店:東京・大阪・東北
営業所:福岡 連絡所:名古屋
ショールーム:天童・東京・大阪 工場:天童



新しい事業分野を展開していく。
森林が持つ可能性を活用し、



現場でリアルな経験を重ね、大学で幅広い知識を学ぶ。

森林が本来持っているポテンシャルを見直し、活用することこそが従来の林業を超え、これからの事業分野として成長が期待される「森林業」です。森林業経営学科では例えば森林の再生力をふまえる必要な経済性を加味した総合技術学としての「森作り（造林）」のあり方を学生の皆さんとともに森林・林業の現場から考えていきたいと思っています。

東北農林専門職大学の強みは、2年次からの臨地実務実習で現場経験を重ねながら、並行して大学で学ぶことができるという、これまでにない新しい学びのスタイルです。より実践的に、より専門的に「森林業」の学びを深めることができます。また卒業時に4年制大学の学士号を取得し、卒業後のキャリア形成にも選択肢の幅と多様性を持たせることができることも特徴です。

東北農林専門職大学
農林業経営学部
森林業経営学科 学科長
大久保 達弘
Tatsuhiko Ohkubo

農学博士(東京大学) 専門分野:森林生態学・造林学

宇都宮大学農学部で森林科学、森林生態学、造林学を教育研究。東京農工大学大学院連合農学研究科教授(併任)、米国イェール大学森林学環境学専門職大学院客員准教授を歴任。宇都宮大学名誉教授。栃木県森林審議会会長を歴任、山形県樹木復活県民会議構成員

Pick Up Curriculum

森林業経営学科のカリキュラム

先端森林業技術論

近年はスマート林業の取り組みや林業イノベーションが進み、AIやICTを利用した先端技術によって、造林から流通までが効率化され、森林業経営の収益性が高まっています。本科目では、研究開発・実証・実施・普及の状況をふまえ、森林業分野における先端技術（ICT、レーザー森林解析、ロボット等）の活用方法等について学びます。

森林生態系サービス保全利用論

本科目では森林生態系サービスビジネスに関する基礎的な知識について学び、さらに生態系サービスの維持増進を図り、観光産業、教育産業、健康産業をはじめとした他分野との融合を図ることで、新たなビジネスの創設などへの展開を図るため、生態系サービスへの支払い（PES）の知識について学びます。

森林業経営分析・計画

本科目では、持続可能な森林業経営が形成される過程で、それを確実にするためにどのような考え方、方法がとられてきたのか、将来にわたりどのようなことをすればよいのかなど、森林業経営の基本的な考え方と実践手法（森林資源の現状分析、森林の経営目的と指導原則、伐期、収穫規整、森林の評価など）について学びます。

造林学

地域毎の環境に最適な森林を育成するためには、樹種毎の生育特性を理解したうえで、森林を仕立て（造林）、その成長を経時的に評価し、手入れ（保育）をしていく必要があります。本科目では、日本（特に東北地方）、海外の針葉樹、広葉樹の造林技術の基礎、その取り組みと課題について学びます。

木質科学概論

木材の持続的な生産と利用を実現するためには、樹木の適正な管理だけでなく、樹木の特徴や性質を理解する必要があります。本科目では、広葉樹、針葉樹の木質組成の違い、木材の密度と水分が木材の物理性に及ぼす影響、木材の物理的性質や化学成分、利用方法等、木材の科学的特徴や性質等に関する知識を学びます。

森林環境政策

本科目では「国内外の森林政策の歴史的な展開過程」、「森林環境管理と生態系管理の基本的な考え方」、「参加・協働の考え方と取り組み事例」、「世界の森林保全問題」について理解しながら、国内外の森林・林業・環境に関する政策や参加・協働型の政策形成手法など持続可能な森林業の実践のための基礎的な知識について学びます。

大学としての学問理論と森林業の現場の実践。

研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

森林業経営学科は森林資源管理および森林資源利活用の各専攻分野に研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置し、理論と実践とを関連づけて学べる、ハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

例えば、
こんな研究をしている
教員がいます

- 森林の多面的機能に資する森林を造成する技術や生態系を管理する技術を研究している教員
- スマート森林業実施のための先端的森林施業技術を研究している教員
- 森林サービス産業と革新的な森林ビジネスを研究している教員



森林業経営学科の定員および専任教員

入学定員	収容定員 (+3年次編入)	専任教員			教員数計
		学科長	研究者教員	実務家教員	
8	32+4	1	4	4	9

森林業経営学科 カリキュラムマップ

■:必修科目 ■:選択科目
 ■:自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)

	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目目(20)	地域等の特性(4単位)							
	山形・東北の風土・伝統文化(2)				哲学と東北(2)			
	コミュニケーション能力(6単位)							
	(自由)英語基礎(2) ■ビジネス英語I(2)		■ビジネス英語II(2)					
職業専門科目(84)	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)							
	キャリアサポートセミナーI(1~4年)、II(2~4年)、III(3~4年)							
	スポーツ(1) ■SDGsと倫理(2) 2単位を選択 ■気象・気候学概論 ■統計学		情報活用(1) ■経済学入門(2) 2単位を選択 ■政治学概論 ■社会学概論 ■法学概論					
	生産技術・理論(32単位)							
■森林土壌・樹木学(2) ■造林学(2) ■森林生産学(2) ■森林労働安全衛生論(1)		■非木材森林産品概論(1) ■森林保護学(2) ■森林保全学(2)		■測量学(2) ■森林情報学(1) 先端森林業技術論(1)				
演習林実習I(8)		演習林実習II(8)						
経営全般(46単位)								
森林業実地体験実習(1)		木質科学概論(2) ■SDGsと農業・森林業(2) ■国際森林業論(1) ■木材利活用論(2)		■森林環境政策(2) ■組織マネジメント論(2) ■森林経営管理論(2)		■マーケティング論(2) ■森林業経営分析・計画(2) ■税制・簿記論(1)		
臨地実務実習I(生産管理等)(8)		臨地実務実習II(経営管理等)(8) ■木材加工・販売実習(2)		■簿記各論(1)		臨地実務実習III(経営総合)(8)		
(自由)国際農業・森林業実習(2)		どちらか1つの履修時期を選択		(自由)国際農業・森林業実習(2)				
地域課題解決能力(6単位) 【講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択】								
2単位を選択 ■東北の森林資源管理 ■東北の森林資源利活用		■農山村活性化論(2) ■農山村活性化論演習(2)						
展開科目目(24)	応用的・創造的能力(24単位) 講義(必修:2年前期、選択:1~4年前期):2単位、演習(必修:2年後期、選択:1~4年後期):2単位 ※講義12単位と演習12単位を選択							
	森林生態系サービス保全利用論(2)		森林生態系サービス保全利用論演習(2)					
■デザイン論(偶数年度開講) ■デザイン論演習(偶数年度開講) ■金融論(奇数年度開講) ■金融論演習(奇数年度開講) ■発酵学・醸造学(偶数年度開講) ■発酵学・醸造学演習(偶数年度開講) ■建築学(奇数年度開講) ■建築学演習(奇数年度開講) ■社会福祉論(偶数年度開講) ■社会福祉論演習(偶数年度開講) ■栄養学(奇数年度開講) ■栄養学演習(奇数年度開講) ■山形・東北観光学(奇数年度開講) ■山形・東北観光学演習(奇数年度開講)								
総合科目目(4)	総合的能力(4単位)							
	経営分析・計画演習(4)							

取得学位について

森林業学士(専門職)

取得を目指す資格一覧

- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- チェーンソーによる伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 小型車両系建設機械(整地・運搬・積込用、掘削用)運転特別教育修了証
- 車両系建設機械(整地・運搬・積込用、掘削用)運転技能講習修了証
- 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 赤十字救急法基礎講習(赤十字ベーシックライフサポーター認定証)
- 赤十字救急法救急員養成講習(赤十字ファーストエイドプロバイダー認定証)
- 日商簿記検定(2級)※1
- 森林情報士2級(森林GIS)※2

※1 試験範囲を網羅した授業を実施。資格取得のためには検定試験を受験して合格する必要がある。
 ※2 指定の科目を履修することで、資格取得の要件が満たされる。資格取得を希望する場合は、資格審査事務局に申請する必要がある。